

# こいししょうがっこう せいかつ 小石小学校 生活のきまり

れいわ ねん がつ にちげんざい  
令和4年7月5日現在

## じつこう 登校

- 通学路を通って来る。
- 7時50分から8時20分の間に登校する。
- 健康チェックカードを出せるように準備しておく。

## げそく 下足センター

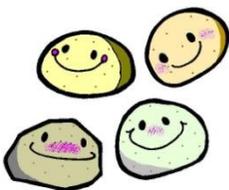
- 下ぐつのまま上がらない（ドアのところではきかえる）。
- くつは、つま先を手前にしてそろえる。（ひと手間加える）

## つうか ろうか通行

- 走らず、右側を通る。
- 教室から移動する時はしゃべらない。
- A棟1階、A棟とB棟の間の1階と3階は、基本的に通らない。  
緊急時、引率の基での通行可。

## きょうしつ 教室

- チャイムに合わせて行動する。（チャイム席）
- 放送が聞こえたら、動きを止めて静かに聞く。
- 机やロッカーの上に座らない。
- 友達と密になるような過ごし方はしない。



## やすみ 休み時間

- 運動場の土の部分で遊ぶ。
- 遊んではいけない場所→
- ドッジビーなどは、職員室で許可をもらってから使う。
- ボールをけったり、かべにぶついたりしない。
- 先生の許可なしに、ベランダに出ない。
- 雨の日は図書室や教室で過ごす。トランプなどは、先生に声を掛けてから。
- 紙飛行機をつくったり、物を投げたりしない。

・B棟・体育館・体育倉庫のうら ・駐車場  
・C棟のまわり ・中庭 ・体育館横のかいだん

## そうじ そうじ

- しゃべらずに掃除する。
- 自分の掃除道具には、名前を書いたシールなどを貼る。

## ほうかご 放課後

- おそくまで学校に残らない（5時間目までのとき：15時5分までに6時間目までのとき：16時までに学校を出る）
- 通学路を通り寄り道をしない。
- 一度かならず家に帰る。
- 迎えを待つときは、ベンチにすわる。
- 学童やクラブチームの利用があるので、放課後学校に遊びに来ない。



## もちもの 持ち物

- 自分のものには名前を書く
- 学習に関係のないものを持ってこない。
- 学習中は、筆箱を出さない。

## げしやうご 下校後の遊び

- 子どもだけで、校区外に出ない。
- 川や池、工事現場などで遊ばない。
- 暗くなる前に家に帰る。（4～9月は夕方6時まで。10月～3月は5時まで）
- 家の人に「だれとどこで遊ぶ」のかをつたえておく。
- ともだちどうしてお金や物をあげたりもらったりしない。
- エアガンなど、危険なものを使って遊ばない。
- 公園にゴミなどを捨てない。
- インターネットやゲームは、家で決めたルールをよく確認して使う。

## こどもだけで行ってはいけない場所

- 映画館、ゲームセンター、カラオケ店、ファミレス・小石プール、校区外のスーパーマーケットやデパートなど。

なにかみ  
ふでばこの中身  
えんぴつ ほん  
鉛筆5本くらい、あか あおえんぴつ じょうぎ け  
赤・青鉛筆、定規、消し  
ゴム  
えんぴつ  
※鉛筆は、家で削る。学校では、休み時間  
に削る。  
×折り畳み式の定規、飾りのついたキャ  
ップなどは持ってこない

## 体育の学習

- 服装
  - 必ず紅白帽子をつける。
  - 夏の体操服の下には、長袖シャツ・タイツを着ない。
  - タイツの場合は、靴下の準備をしておく。靴下がない場合は見学。
  - 靴下は、ひざ下までのものをはく。
  - マスクは外してよい。入れ物は用意する。袋に名前を書く。
  - 髪の毛の長い児童は結ぶ。
  - 爪が伸びている場合は、事前に切っておく。
- ネックレス、ミサンガ、ゴム（腕に）などの着用は禁止。体育に限らない。
- 見学
  - 保護者からの連絡が必要。当日のけがや急な体調不良の場合は除く。
  - 体操服や赤白帽子を忘れた児童は、体育科の学習に参加できない。
  - 学習の補助を行ったり、他の児童の様子を見たりして学ぶ。
  - 準備体操・整理体操・振り返りなどは、他の児童と同じように行う。

## 言葉づかい

- 先生に声を掛けるときは、「〇〇先生」と、声を掛ける。
- 「～です。」「～ます。」など、丁寧な言葉を使う。

## その他大事なこと

- 上着は腰に巻き付けない。
- 職員室・事務室へは、大人数で来ない。一人で持てるものは、一人で取りに来る。
- 国語・算数（教科書やノートなど）以外の学習道具は、置いて帰ってよい。
- 黄色のボックスを使って整理整頓する。
- 引き出しの中に、教科書などを置きっぱなしにしないようにする。
- ケータイ・スマホは、首にぶら下げたまま登校しない。持ち込みの許可がある人は、ランドセルなどに入れて持ち運びする。

## タブレット

- ゲームなど、学習に関係のないことには使わない。（家庭で使う場合も、同様。）
- タイピング練習用のアプリなど、使用してよいものは学校で連絡する。
- 学校内で持ち運ぶとき（教室外で使用する場合）は、入れ物（図書用の手提げなど）に入れて持ち運ぶ。
- その他、具体的なルールは、教育委員会のホームページに掲載された内容を確認する。

その他、クラスで「ルールやマナー」について話し合ひましょう。

※なぜ、「生活のきまりがあるのか」一つ一つ考えてみるとよいです。

